

## 毒性評価手法の特徴

毒性評価手法は、一般的な科学分析で感知しにくい毒性物質類の総合反応です。

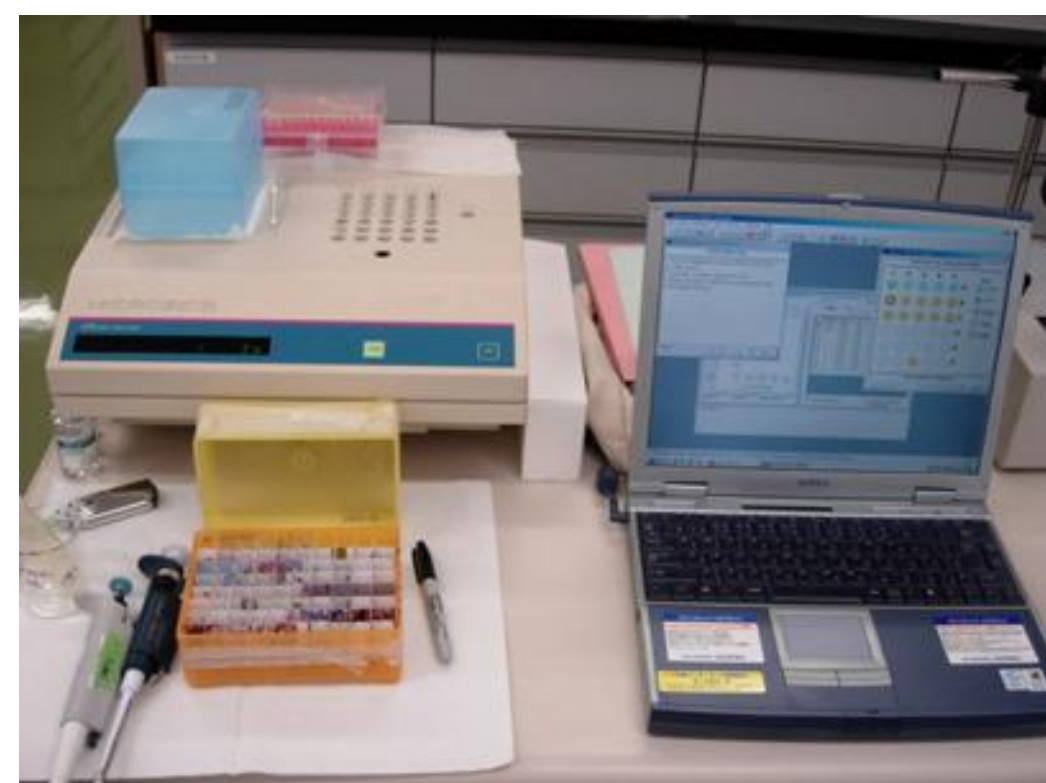
- ・住民に判りやすい評価指標です。
- ・一般環境のモニタリングに利用できます。

## 毒性評価手法

毒性評価は以下の試験から総合的に評価します。

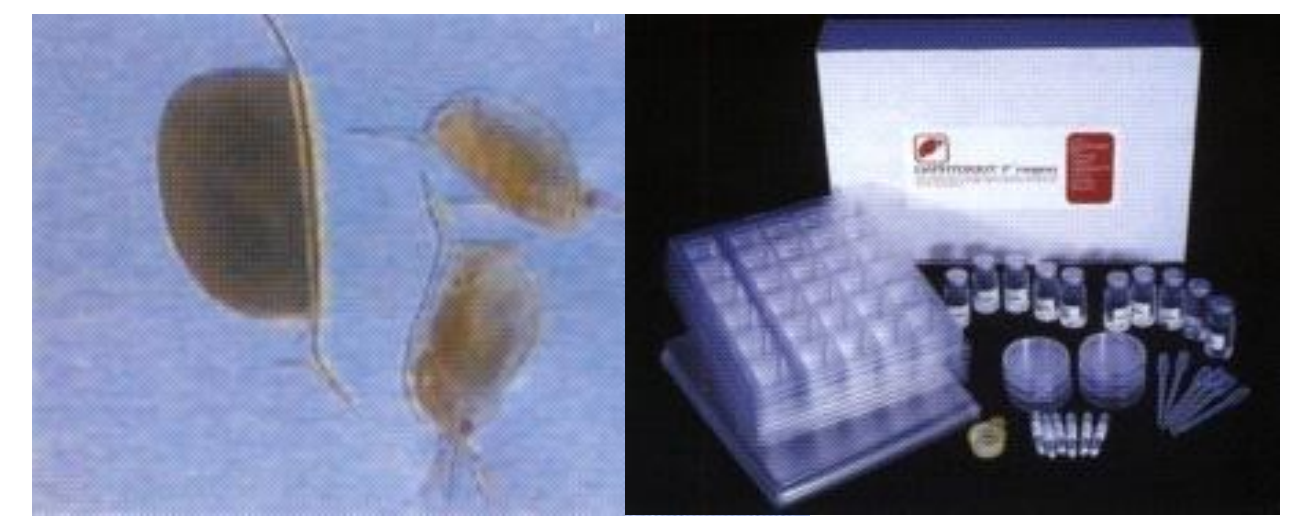


マイクロトックス(Microtox) : *Vibrio fischeri* 発光性反応



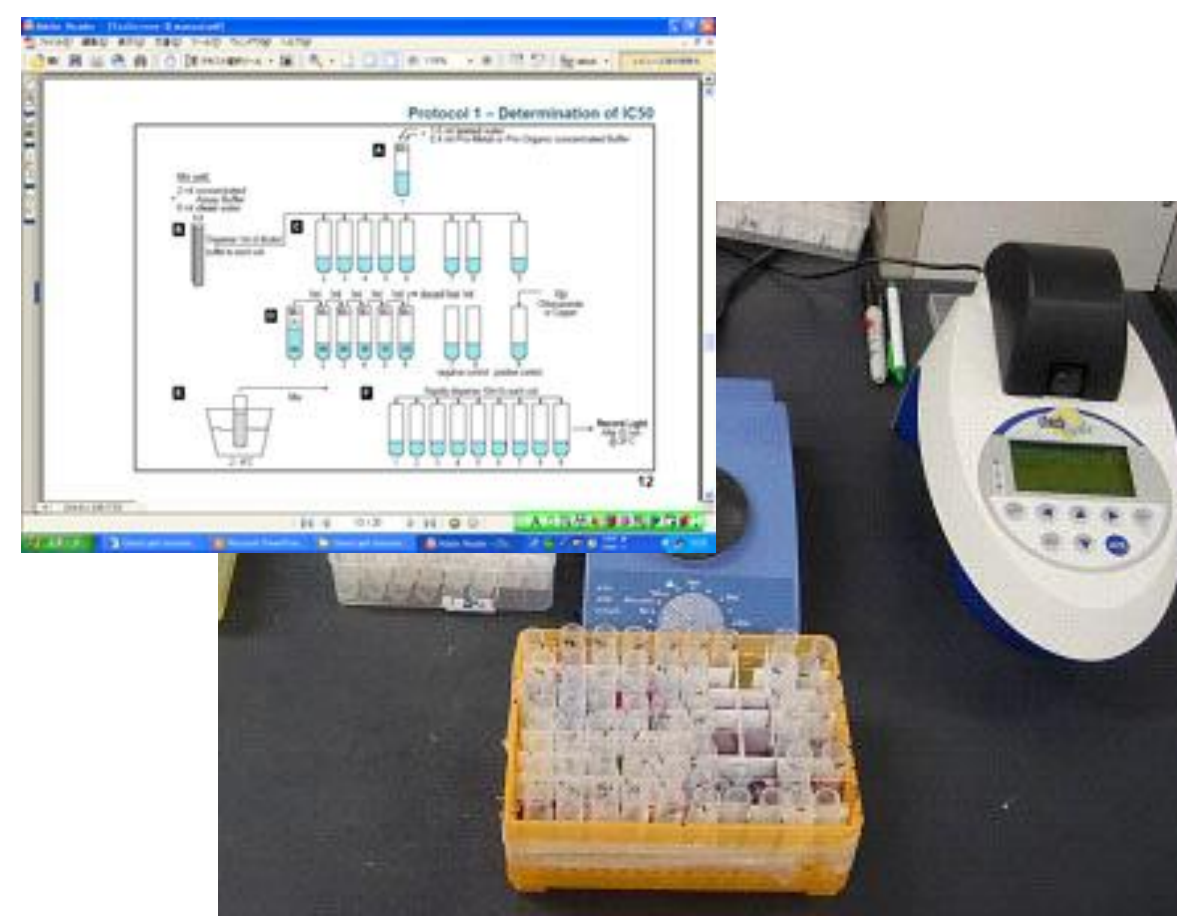
EC50

ミジンコ：デフトックスキット(DaphTox)



LC50

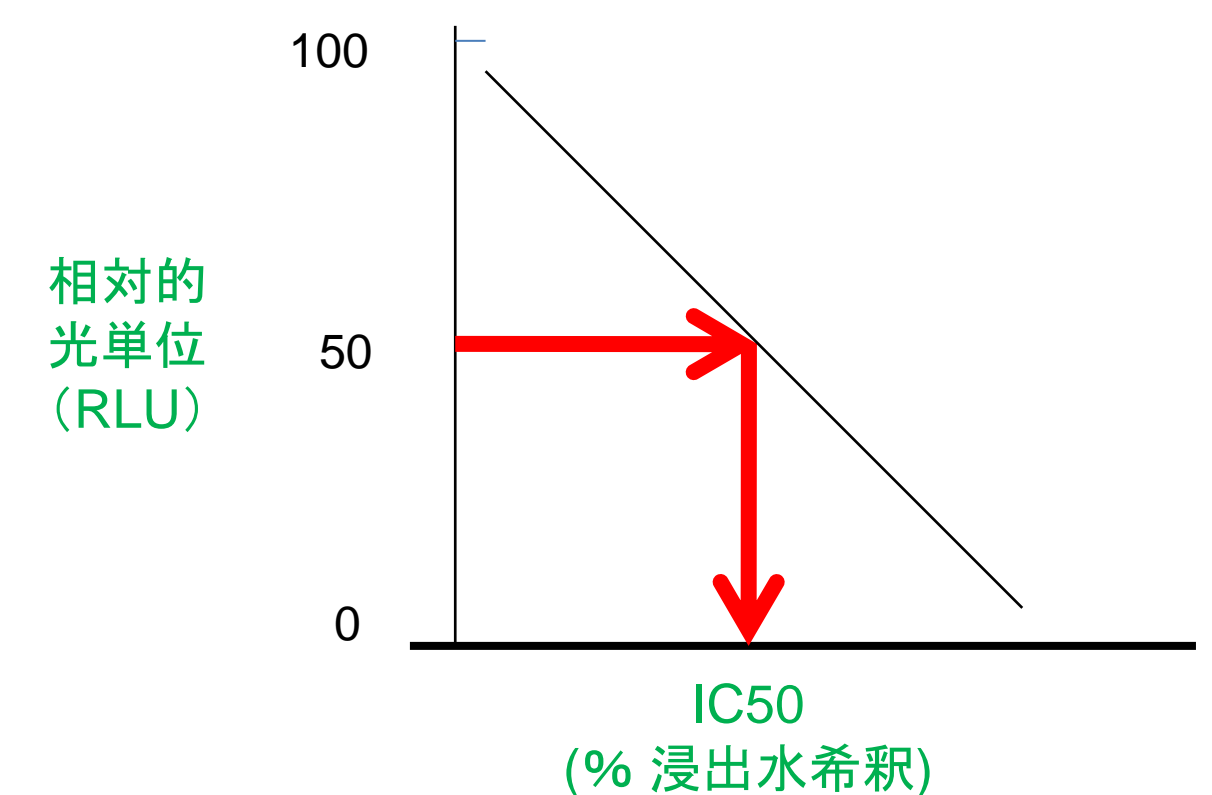
トックススクリーンⅡ (Toxscreen-Ⅱ) :  
Photobacterium leiognathi 発光性反応  
Pro-Organic buffer、Pro-Metal buffer



IC50

毒性 Test Endpoint-IC50(EC50, LC50)

(光発生率の50%を阻害する濃度)



植物：ファイトトックスキット(Phytotox test)



貝類毒性テスト



毒性評価試験システムは福岡大学大学院工学研究科資源循環・環境工学専攻で総合化しました。

## 事業フォーメーション

毒性評価コンサルティンググループ J-HAC・福岡大学資源循環・環境制御システム研究所

システム研究開発者 福岡大学 樋口 壮太郎、趙 銀娥、為田 一雄  
開発協力者 ノースカロライナ大学 Dr. Sandy Mort



〒808-0135 北九州市若松区ひびきの2-1学研都市内 産学連携センタービル3階 福岡大学内  
TEL:093-695-3061 FAX:093-692-5312 E-mail:[tameo@j-hac.com](mailto:tameo@j-hac.com) <http://www.j-hac.com>